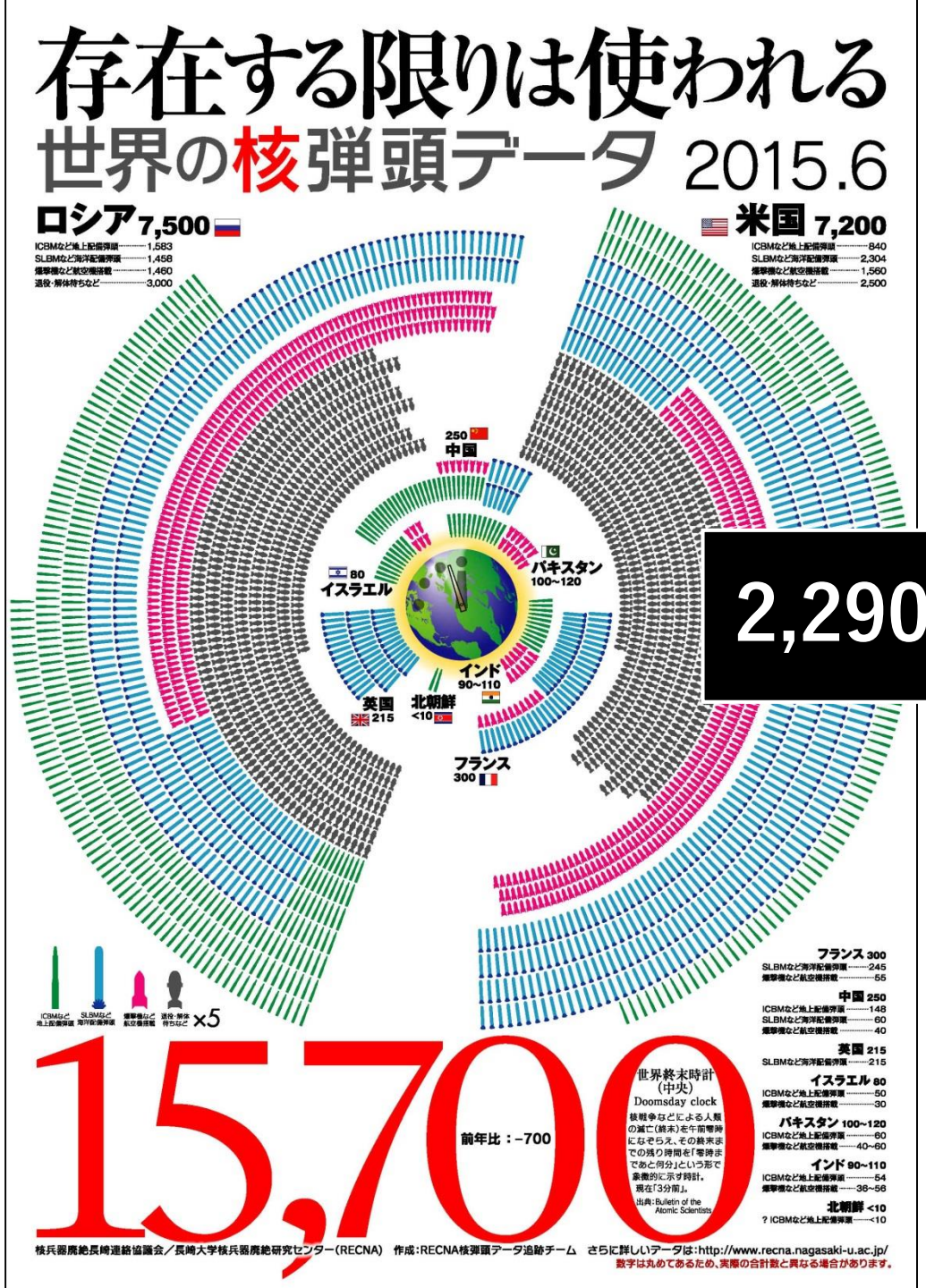
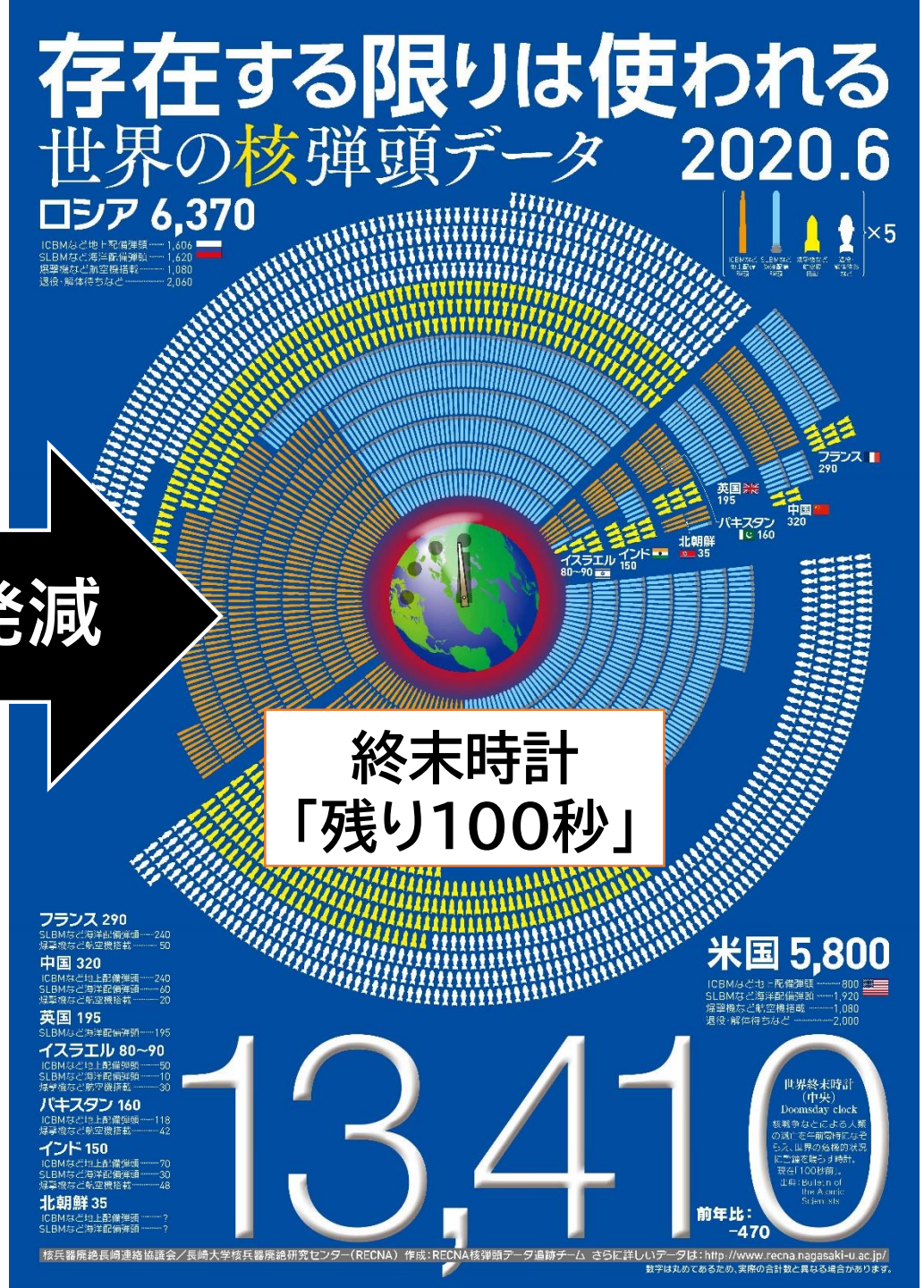
NPT・核兵器禁止条約・市民社会
～〈今〉をどう活かすか～

2020年核兵器廃絶市民講座 第1回
6月27日（土）
長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）
中村桂子

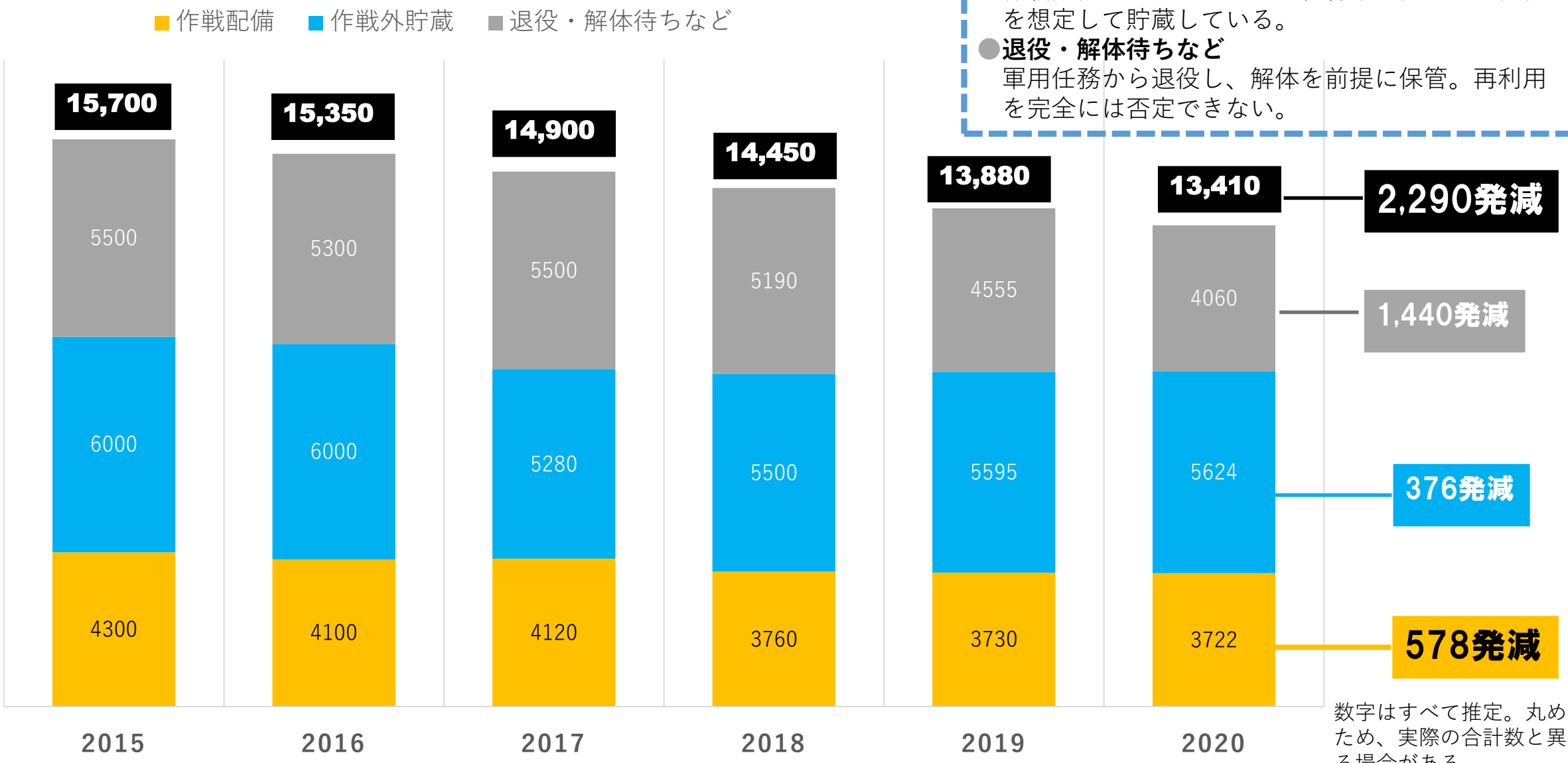

存在する限りは使われる
世界の核弾頭データ 2015.6
ロシア 7,500
ICBMなど地上配備弾頭 1,583
SLBMなど海洋配備弾頭 1,458
爆撃機など航空機搭載 1,460
退役・解体待ちなど 3,000
米国 7,200
ICBMなど地上配備弾頭 840
SLBMなど海洋配備弾頭 2,304
爆撃機など航空機搭載 1,560
退役・解体待ちなど 2,500
250 中国
パキスタン 100~120
80 イスラエル
インド 90~110
英国 215
北朝鮮 <10
フランス 300
×5
フランス 300
SLBMなど海洋配備弾頭 245
爆撃機など航空機搭載 55
中国 250
ICBMなど地上配備弾頭 148
SLBMなど海洋配備弾頭 60
爆撃機など航空機搭載 40
英国 215
SLBMなど海洋配備弾頭 215
イスラエル 80
ICBMなど地上配備弾頭 50
爆撃機など航空機搭載 30
パキスタン 100~120
ICBMなど地上配備弾頭 60
爆撃機など航空機搭載 40~60
インド 90~110
ICBMなど地上配備弾頭 54
爆撃機など航空機搭載 36~56
北朝鮮 <10
? ICBMなど地上配備弾頭 <10
15,700
前年比：−700
世界終末時計（中央）
Doomsday clock
核戦争などによる人類の滅亡（終末）を午前零時になぞらえ、その終末までの残り時間を「零時まであと何分」という形で象徴的に示す時計。現在「3分前」。
出典：Bulletin of the Atomic Scientists
核兵器廃絶長崎連絡協議会／長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA） 作成：RECNA核弾頭データ追跡チーム さらに詳しいデータは：http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/
数字は丸めてあるため、実際の合計数と異なる場合があります。

2,290発減


存在する限りは使われる
世界の核弾頭データ 2020.6
ロシア 6,370
ICBMなど地上配備弾頭 1,606
SLBMなど海洋配備弾頭 1,620
爆撃機など航空機搭載 1,080
退役・解体待ちなど 2,060
×5
フランス 290
英国 195
中国 320
パキスタン 160
北朝鮮 35
イスラエル 80~90
インド 150
終末時計
「残り100秒」
フランス 290
SLBMなど海洋配備弾頭 240
爆撃機など航空機搭載 50
中国 320
ICBMなど地上配備弾頭 240
SLBMなど海洋配備弾頭 60
爆撃機など航空機搭載 20
英国 195
SLBMなど海洋配備弾頭 195
イスラエル 80~90
ICBMなど地上配備弾頭 50
SLBMなど海洋配備弾頭 10
爆撃機など航空機搭載 30
パキスタン 160
ICBMなど地上配備弾頭 118
爆撃機など航空機搭載 42
インド 150
ICBMなど地上配備弾頭 70
SLBMなど海洋配備弾頭 30
爆撃機など航空機搭載 48
北朝鮮 35
ICBMなど地上配備弾頭 ?
SLBMなど海洋配備弾頭 ?
米国 5,800
ICBMなど地上配備弾頭 800
SLBMなど海洋配備弾頭 1,920
爆撃機など航空機搭載 1,080
退役・解体待ちなど 2,000
13,410
前年比：−470
世界終末時計（中央）
Doomsday clock
核戦争などによる人類の滅亡を午前零時になぞらえ、世界の危機的状況に警鐘を鳴らす時計。現在「100秒前」。
出典：Bulletin of the Atomic Scientists
核兵器廃絶長崎連絡協議会／長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA） 作成：RECNA核弾頭データ追跡チーム さらに詳しいデータは：http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/
数字は丸めてあるため、実際の合計数と異なる場合があります。

世界の核弾頭数の推移（弾頭の種類別）（2015年～20年）

- **作戦配備**
  部隊に配備・貯蔵され、そのまま使用できる状態に置かれている。
- **作戦外貯蔵**
  作戦配備はされていないが、将来の使用の可能性を想定して貯蔵している。
- **退役・解体待ちなど**
  軍用任務から退役し、解体を前提に保管。再利用を完全には否定できない。



数字はすべて推定。丸めのため、実際の合計数と異なる場合がある。

進む核兵器の「近代化」と新型核の開発・配備

◆**加速する核「近代化」計画**

⇒新しい潜水艦、爆撃機、ミサイルの生産、核弾頭の改良、核施設の整備等が進む

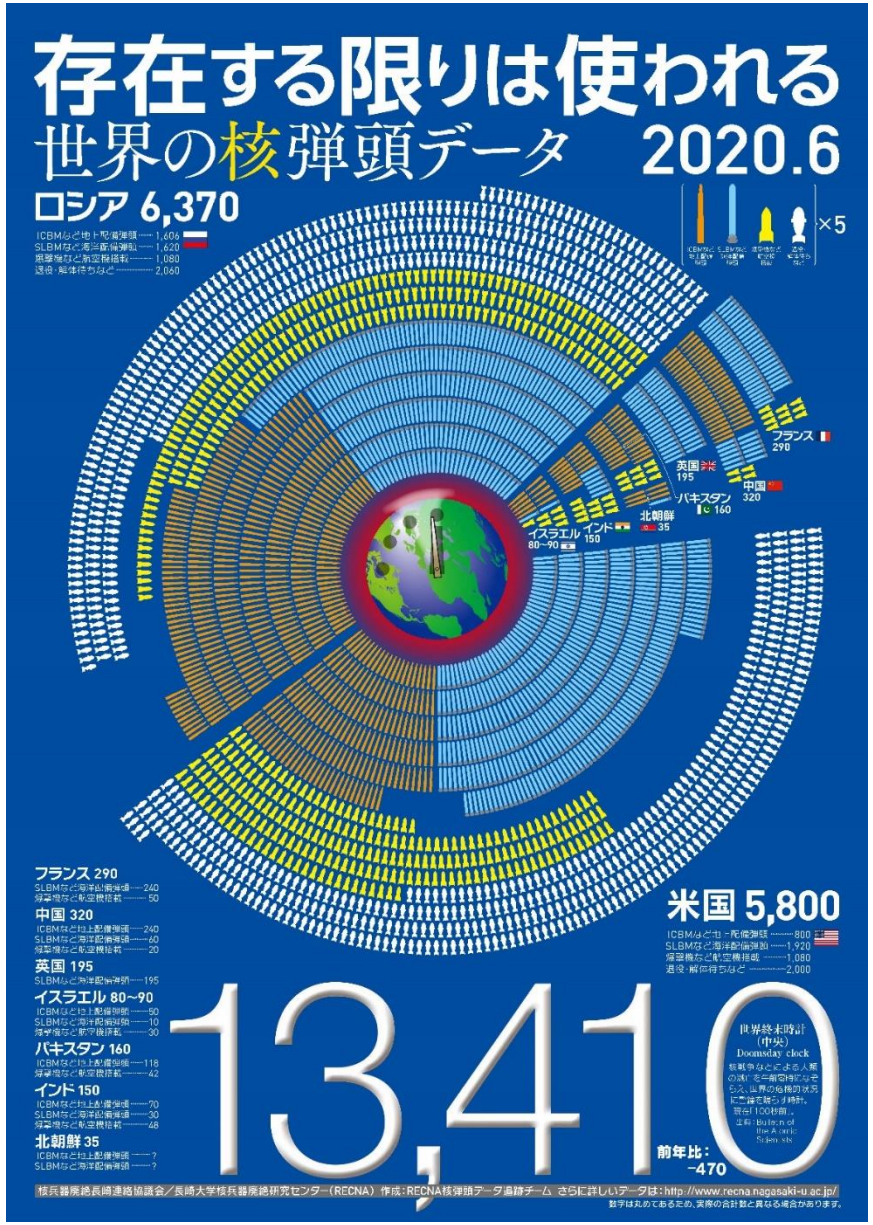
⇒膨れ上がる近代化予算

◆**核使用の「しきい」の低下**

⇒SLBM用「低威力」核弾頭の開発・実践配備

⇒海洋発射核巡航ミサイル開発

⇒極超音速弾道ミサイル実戦配備　　etc.



国際的な軍備管理体制崩壊の危機

◆米国によるイラン核合意からの一方的離脱

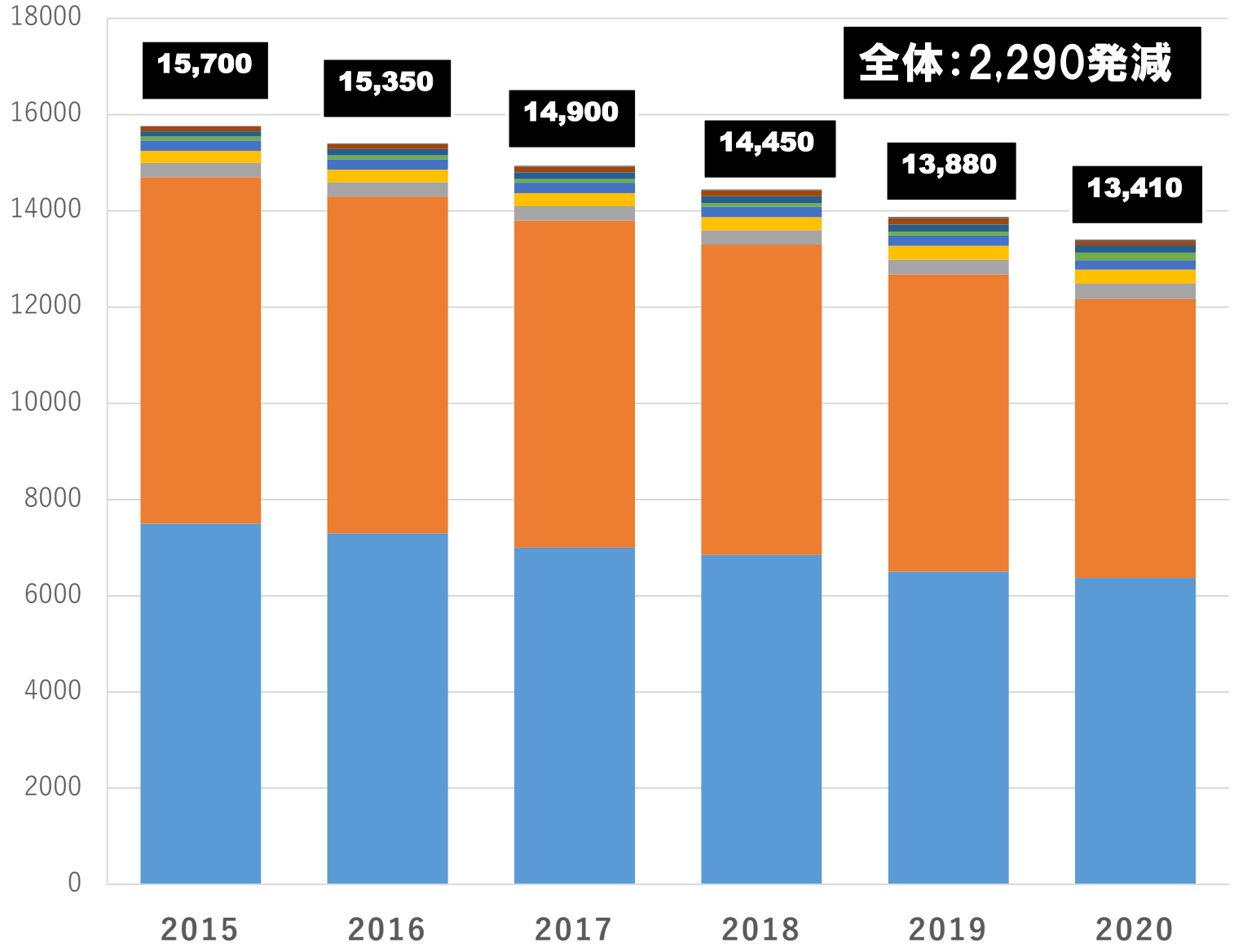
◆中距離核戦力（INF)全廃条約の失効

◆新START条約延長交渉の不透明な行方

◆米国による領空開放（オープンスカイ）条約からの脱退意向表明

◆ゆらぐNPT体制

世界の核弾頭数の推移（国別）
（2015年～20年）



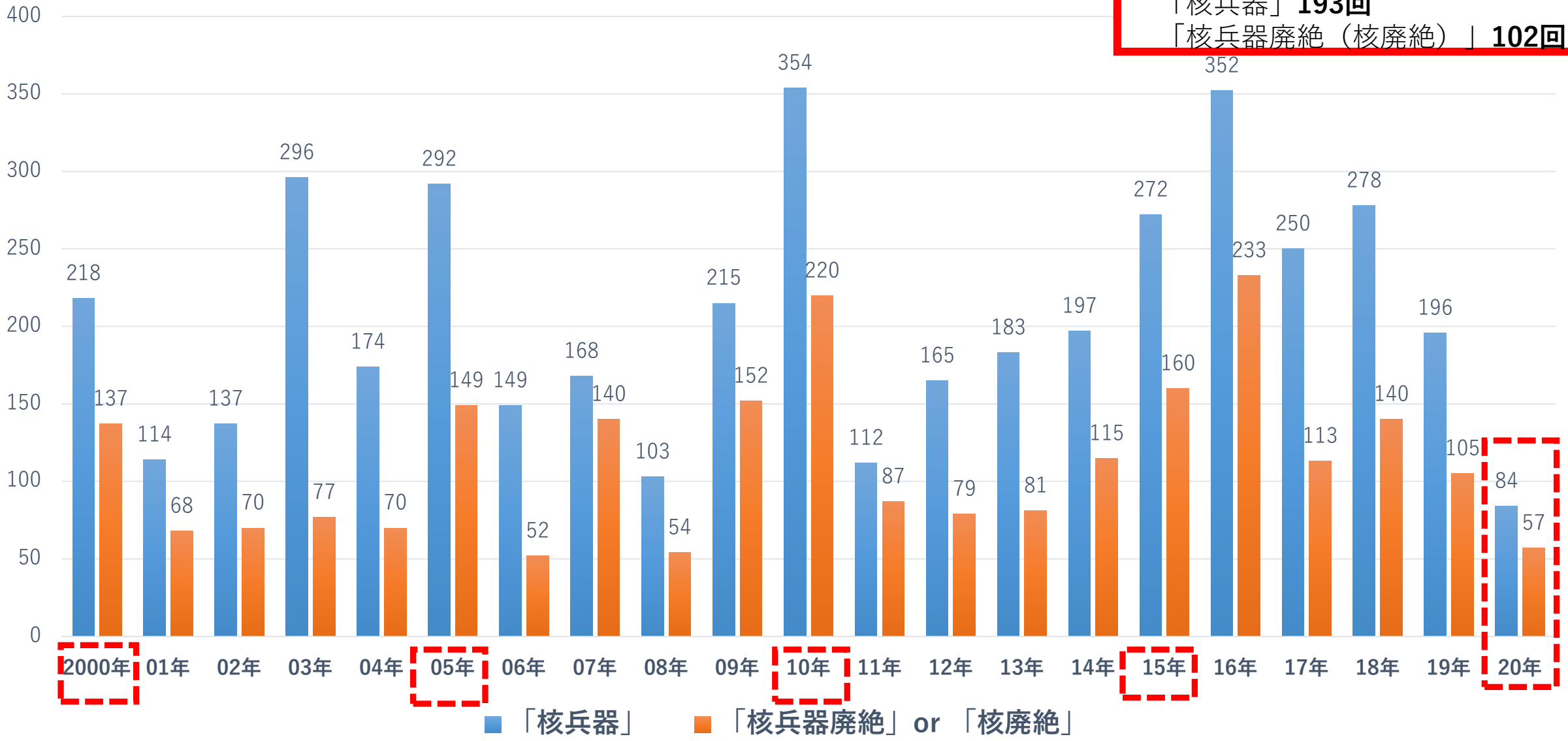
	2015	2020	増減
北朝鮮	10以下	35	**25以上の増**
インド	90-110	150	**40-60増**
パキスタン	100-120	160	**40-60増**
イスラエル	80	80-90	**0-10増**
英国	215	195	**20減**
中国	250	320	**70増**
フランス	300	290	**10減**
米国	7,200	5,800	**1,400減**
ロシア	7,500	6,370	**1,130減**

数字はすべて推定。丸めのため、実際の合計数と異なる場合がある。

【核兵器】【核兵器廃絶(核廃絶)】が登場した新聞記事数

（2000年～20年。いずれの年も3月～5月集計）（朝日新聞全国版）

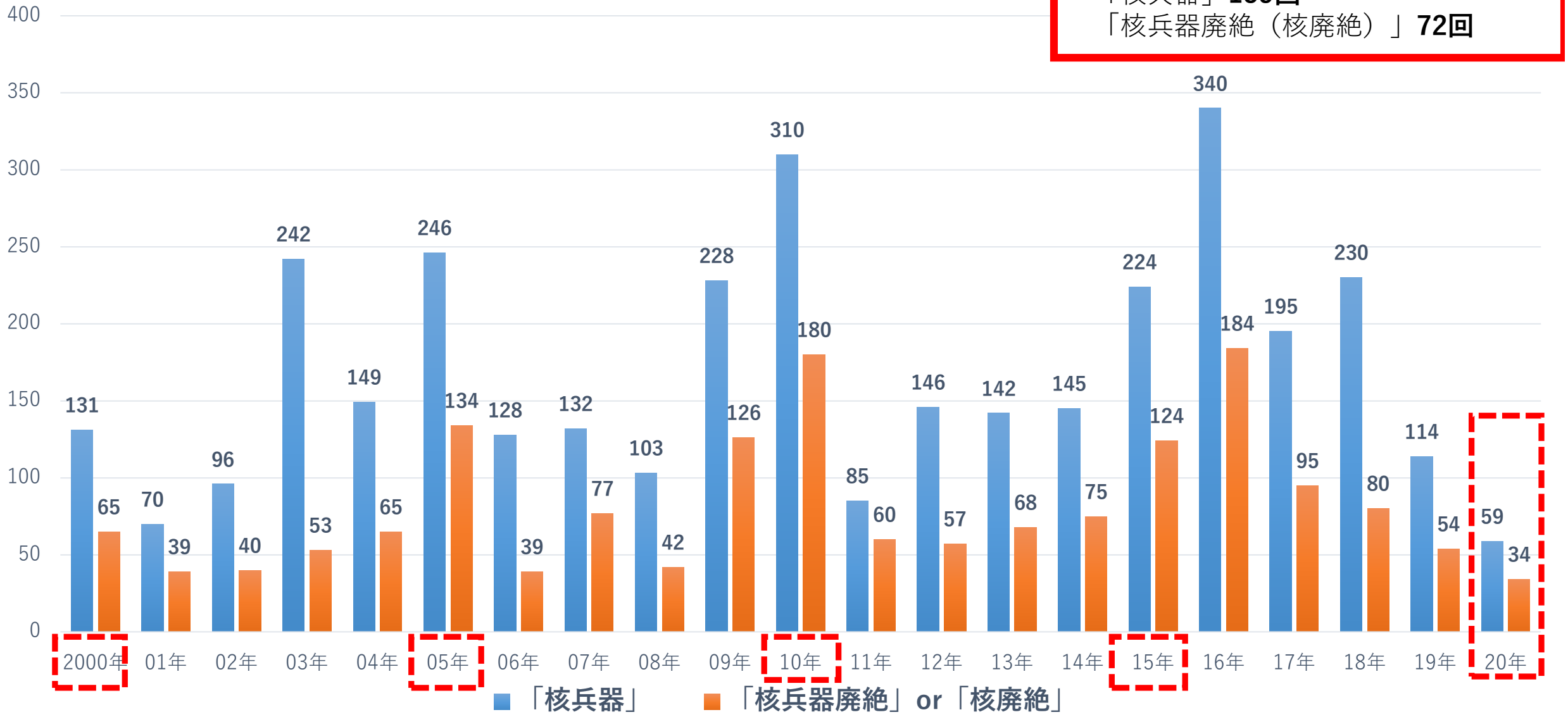
再検討会議のある年（平均）：
「核兵器」**284回**
「核兵器廃絶（核廃絶）」**167回**
その他の年（平均）：
「核兵器」**193回**
「核兵器廃絶（核廃絶）」**102回**



【核兵器】【核兵器廃絶(核廃絶)】が登場した新聞記事数

（2000年～20年、いずれの年も3～5月集計）（読売新聞全国版）

再検討会議のある年（平均）：
「核兵器」**228回**
「核兵器廃絶（核廃絶）」**126回**
その他の年（平均）：
「核兵器」**159回**
「核兵器廃絶（核廃絶）」**72回**



核兵器禁止条約の早期発効
（50カ国目の批准後、90日で発効）

2020年6月22日現在

署名：81カ国

批准：38カ国

条約のポイント

・核兵器は「非人道兵器」
・核兵器の開発、保有、使用、使用の威嚇などあらゆる活動を例外なく禁止
・被爆者・核実験被害者の「苦難」と「努力」に言及
・核兵器の被害者の権利を認識
・保有国の核兵器廃棄への道筋を描く
・核兵器に「悪の烙印」を押す

→核抑止に依存することの正当性を崩し、核兵器国と「核の傘」依存国への圧力に

核兵器製造企業への投融資禁止を求める動きの高まり

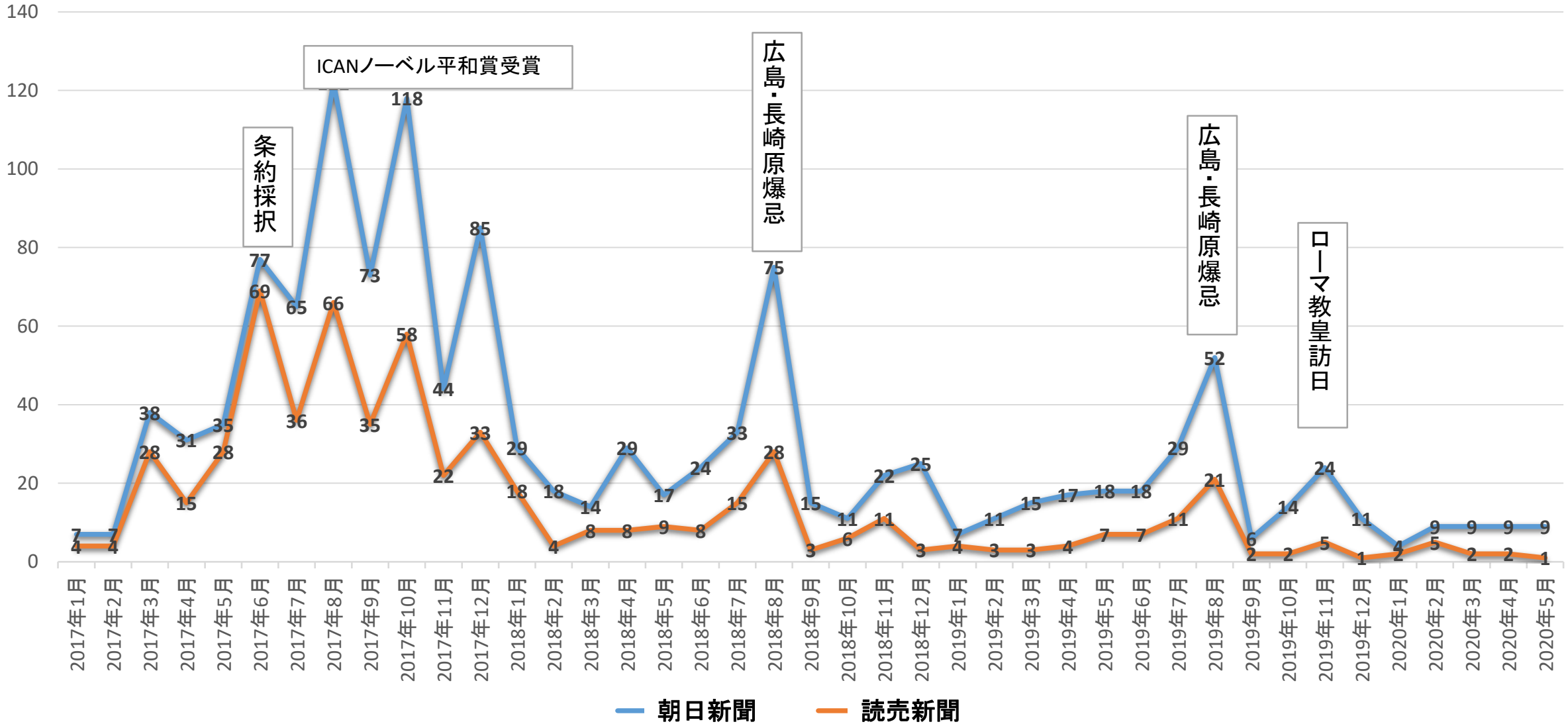
三菱UFJ フィナンシャル・グループが今年5月13日に「MUFG環境・社会ポリシーフレームワーク」の改定を発表。

H)非人道兵器セクター

戦争・紛争において使用することを目的に製造され、一般市民も含めて、無差別かつ甚大な影響を与える核兵器、生物・化学兵器、対人地雷は、クラスター弾と同様に人道上の懸念が大きいと国際社会で認知されています。**核兵器、生物・化学兵器、対人地雷の非人道性を踏まえ、これら非人道兵器の製造に対するファイナンスを禁止しています。**

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2020/pdf/news-20200513-002_ja.pdf

「核兵器禁止条約」が登場した新聞記事数
（2017年1月～2020年5月）



”the security of all humanity“
（すべての人類の安全保障）

“I have consistently noted that the COVID-19 pandemic is teaching the world many lessons. One of the most important is that globally disruptive and previously unthinkable events with devastating consequences can happen suddenly. We must remember that this applies to the potential use of nuclear weapons, either intentionally, by accident or, more likely, through miscalculation.”

「新型コロナウィルスの感染拡大は世界に多くの教訓を与えていると、私は一貫して申し上げてきました。そうした教訓の一つは、壊滅的な結末をもたらすような、破壊的かつ想定外の事態は突然に起こるということです。これが核兵器使用の可能性にも当てはまることを私たちは忘れてはなりません。意図的な使用に限らず、事故、あるいは誤算による使用も十分にありうるのです。」

中満 泉　国連軍縮問題上級代表
UNDIRオンラインセミナー（6月20日）での発言（日本語訳は筆者）

「被爆から75年　長崎からのメッセージ」

核兵器、環境問題、新型コロナウイルス…

世界規模の問題に立ち向かう時に必要なこと

その根っこは、同じだと思います。

人を

被爆75周年の今年、

さぁ、一歩を踏み出しましょう！

今だからこそ、長崎から骨太のメッセージを

(全6回)

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu/75th_project_20200612